

できる・できる・できる

校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和3年 6月 11日

No.14

長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

校訓追求のための重点目標評価発表！

～ 1期（4月・5月）評価 ～

本校では、学校教育目標達成に向けて、様々な教育活動を実践しています。その検証方法として、全職員による評価を「校訓追求のための重点目標評価」と称して、2ヶ月に1回実施しています。評価項目は、重点目標に掲げている「校訓に沿った目指す生徒像」です。



そこで、今回は1期（4月・5月）の評価を保護者のみなさまに発表いたします。

※各項目は戸町中ランドデザインをご覧ください

校訓	学年	学年平均	全体平均
自主	1年	2.8	2.8
	2年	2.9	
	3年	2.6	
友愛	1年	2.9	2.9
	2年	2.9	
	3年	2.9	
飛躍	1年	2.9	2.8
	2年	2.9	
	3年	2.5	

※ [4：よくできている 3：だいたいできている
2：あまりできていない 1：できていない]

「自主」では、あいさつや時と場に応じた言葉づかいができるや積極的に役割を果たすは「3.0」でした。しかし、自信をもって課題を解決するについては「2.5」と一番低い評価となっています。

「友愛」では、ほぼ「3.0」でしたが、伝えあい高め合うが「2.6」と一番低い評価でした。

「飛躍」では、地域や母校を愛するが「3.0」で他の項目は全て「2.9」を下回り、失敗を恐れず挑戦するが「2.6」で一番低い評価でした。

職員の個々の評価では「4.0」の高評価もありました。しかし、全体評価では、いずれも「3.0」を下回る結果となりました。



今後も、全職員で目標達成に向けて、全力で取り組んでいきます。

心に秘めた燃え上がる闘志！

各部のキャプテンや代表選手が、これまでの練習を振り返り、試合で悔しい思いをしたこと。練習を通じ学んだチームワーク。絶対に勝つという負けん気を語っていました。大会に向けて燃える闘志は、各部の強い味方です。**明日から始まる中総体、戸町旋風を巻き起こせ！**



心の種

今回のテーマは「一冊いかがですか」です。

昼休みに図書室を訪れた時のことです。図書当番から「校長先生も一冊いかがですか？」と貸出をすすめられました。



本との出会いについては、以前も「本との出会いは人生をもかえる」と題してお伝えしました。そこで、私は、新刊コーナーにあった川口俊和さん作「コーヒーが冷めないうちに」を借りました。映画も観たいと思っていたので先に原作を読んでから映画を観ようと思います。

何よりも、私に気兼ねなく声をかけてくれて、本と出合うきっかけをつくってくれた図書当番の一言に感謝します。ありがとう！ (*^_^*)

あなたはどっち？

～ 心を映し出す光景 ～

ある階の男子トイレのスリッパの様子です。

よほど急いでいたか、それとも何も考えずにぬいだのでしょうか？



スリッパをぬいだ人が揃えるのは当然ですが、揃っていないことに気づいた人が一人でもいてくれたなら、左のスリッパのように揃っていたのに・・・

上の一枚の写真から、いろんな場面を連想し、私ならどうすべきかを考えることができます。

さあ、“あなたはどっち”ですか？